

## 本時の学習課題

アタッシュケースの製作工程をまとめることができる

本校で育成する資質・能力

(学校) 主体性、コミュニケーション能力

1 日時 令和7年10月17日(金) 12:30~13:20

2 学年 第1学年 1組 33名

3 場所 本館2F 技術室

4 題材について

### ○ 題材観

本題材は、学習指導要領技術・家庭科の技術分野「A 材料と加工の技術」の材料と加工の技術の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに、生活や社会の中から材料と加工の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に材料と加工の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成することをうけて設定している。

(1) 生活や社会を支える材料と加工の技術について調べる活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解すること。

イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えること。

(2) 生活や社会における問題を、材料と加工の技術によって解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができること。

イ 問題を見いだして課題を設定し、材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えること。

現在の社会では、これまでの大量生産・大量消費の傾向が見直され、環境への負荷の軽減や経済面・安全面への配慮などを視点とした、持続可能な社会の構築に向けた取り組みが進められている。このような社会への変化に主体的に対応し、生活や社会における問題を見だし、その改善に必要な情報や技術を適切に選択し取り入れようとする態度を育成するために製作を通し体験させることが非常に重要であると考えます。

本題材では「アタッシュケース製作」を通して、製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みを理解でき、製作することを考え問題を解決する活動や改善や修正する力が身に付けさせることができる。

### ○ 生徒観

本学級は、技術の授業に積極的発言し、前向きな発言が多く、1学期の製作図の練習では描いて合格をもらおうと喜び、達成感を覚えていた。しかし、教え合うことが少ない。5月に実施したアンケートを次に示す

生徒アンケート

	肯定的評価
①技術の作業が楽しみである	88%
②工具機械を使うのが楽しみである	78%
③製作物ができると楽しみである	70%
④作業に対して不安がある	68%

生徒アンケートの結果④から作業に対して、楽しみであるがケガやきちんとできるか不安を持っている生徒がいることがわかった。

### ○ 指導観

指導に当たっては、製作手順や加工方法をスライドでまとめ、自分の作業を視覚化し、問題が発生した場合は、どうするかも事前に考えさせることにより、生徒の不安感を少しでも軽減し、仲間と協力して作業を進めることを行う。

作業前の手順をきちんと考えさせることで、主体的に活動ができるようにする。

### 5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力、主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科・領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本単元においても、本校では「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」を行い、少人数班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

授業の展開の場面で（ミニホワイトボード等を使用して）	資質・能力	意欲・態度	知識・スキル		
		主体性 （自己を認識する力、 自分の人生を選択する力）	コミュニケーション能力 （表現する力）		
レベル1	○課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。	（書く・話す・表現 speak） ○自分の考えや意見を、自分のことばで表現することができる。	（聞く） ○相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、きくことができる。	（やりとり） ○話を聞いて質問することができる。	
レベル2	○課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。	（書く・話す・表現 tell） ○自分の考えや意見を根拠を挙げて、相手を意識しながら、適切な方法で表現することができる。	（聴く） ○相手の話の組み立てや構造を考え、話の意図や要点を整理しながらきくことができる。	（やりとり） ○話を聞いて、内容を深めるために、質問ができる。	
レベル3	○自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで取り組もうとしている。	（書く・話す・表現 talk） ○自分の考えや意見を、根拠を挙げて分かりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で論理的に表現することができる。	（訊く） ○相手の考えについて、根拠の信頼性を判断しながらきき、話された内容と自分の意見をふまえて共通点や疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。	（やりとり） ○話を聞いて質問をした後に、自分の意見を述べ、内容をさらに深めることができる。	
レベル4	やりたいことを自ら見つけ、分析し、（大人の手も借りながら）自分たちで実行できる。	少数意見を尊重しながら、臨機応変に対応し、話し合い活動ができる。			

## 6 題材目標

(1) 材料や加工の特性等の原理・法則と製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解していること。安全・適切な製作や検査・点検をすることができる技能を身に付けていること。生活や社会、環境との関わりを踏まえて、材料や加工の技術の概念を理解しようとしていること。

【知識・技能】

(2) 技術の見方・考え方を働かせて、問題を発見し、自分なりに課題を設定する力を身に付けていること。加工の方法などを構想し、設計を具体化する力を身に付けていること。構想に基づいて、製作の計画を立てることができる力を身に付けていること。

【思考・判断・表現】

(3) 他者と協働し、作業に対して問題が発生しても粘り強く取り組もうとしている態度を養う。

【学びに向かう力・人間性】

## 7 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>・材料や加工の特性等の原理・法則と製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。</li><li>・安全・適切な製作や検査・点検をすることができる技能を身に付けている。</li><li>・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、材料や加工の技術の概念を理解しようとしている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・技術の見方・考え方を働かせて、問題を発見し、自分なりに課題を設定する力を身に付けている。</li><li>・加工の方法などを構想し、設計を具体化する力を身に付けている。</li><li>・構想に基づいて、製作の計画を立てることができる力を身に付けている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・他者と協働し、作業に対して問題が発生しても粘り強く取り組もうとしている。</li></ul>

8 指導計画（全9時間）

教科・領域の本質的な問い

よりよい生活や持続可能な社会の実現のために、技術はどうあるべきだろう。

時間	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;">                     学習課題 ねらい                 </div> 指導内容	重点	記録	生徒の行動・思考	評価 〔評価方法〕
アタッシュケース製作					
題材を貫く問い 現在や未来において材料と加工に関する技術が社会や環境に適切に役割を果たすためにどうすればよいだろう。					
1 2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto;">                     学習課題：作業の手順を考える。                      ねらい：ものをつくる時考えなくてはならないことについて理解できる。                 </div> ・図面を読み取り、けがき、作業手順を理解させる。 ・スライドに作業手順や作業内容をまとめさせる。	知思	○	・図面からけがき寸法を確認する。 ・スライドに作業手順、内容を整理する。	・加工方法を理解し、加工方法を構造的に説明している。（振り返り、スライド、テスト）
3 4 5 6 7 8	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto;">                     学習課題：アタッシュケースを寸法通り製作する。                      ねらい：作業内容、手順を説明でき、安全に作業することができる。                 </div> ・作業内容や手順を確認し、安全に作業をさせる。	知思	○	・作業を確認し、安全に作業する。 ・ミス等があれば、どうするかを考え、今後の作業内容の変更に対応する。	・作業での課題、粘り強く取り組んだ内容をまとめている。（振り返り、テスト、作業内容）
9	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto;">                     学習課題：製作物の評価をする。                      ねらい：製作物の評価をすることができる。                 </div> ・完成品から課題を見つけることができ、次回の製作に活かすための評価をしている。	知思	○	・自己、他者の比較や作業内容の確認をする。 ・改善点を説明できる。	・製作物の評価。 ・改善点等の理解。（振り返り、テスト）

9 本時の展開

(1) 本時の目標

○技術の見方・考え方を働かせて、問題を発見し、自分なりに課題を設定し、加工の方法などを構想し、設計を具体化し、構想に基づいて、製作の計画を立てる。

【思考力・判断力・表現力】

(2) 本時の評価規準と生徒記述

工程を組み立て、スライドに作業手順、内容、注意事項などをまとめることができる。

【思考力・判断力・表現力】

生徒の記述

・けがき→・切断→・加工→・組み立て→・仕上げ の手順で、各材料ごとに説明や注意事項がスライドの各ページに書かれている。

(3) 準備物

・クロムブック・図面

(4) 本時の流れ（1時間目／全9時間）

過程	□学習活動 教師と生徒のやりとり	指導上の留意事項 (○) ・予想される生徒の反応 (・)	評価規準〔観点〕 ★資質・能力 【評価方法】
<b>1 課題設定 5分</b>			
導入	<p>□前回の学習の振り返りを行う</p> <p>教師 アタッシュケースの製作に入ります。作り方の手順や注意事項を自分たちで作っていきます。参考としてペン立ての製作スライドを見てください。実際に作業したので理解しやすいと思いますが内容的にもっとわかりやすいのが良いと思います。では、ペン立て作業工程でもっとこれがあればよかったというものは何か発表してください。</p> <p>生徒 注意事項。もっと細かい作業内容や手順。</p>	<p>○前時の確認をすることで、つながりを持って学習に臨めるようにする。</p> <p>○ペン立て作業工程を見ながら確認する。</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid red; padding: 2px;">導入の工夫</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid red; padding: 2px;">ICTの活用</p>
	<p>学習課題 学習課題：作業の手順を考える。</p> <p>ねらい ものをつくる時考えなくてはならないことについて理解できる。</p>		
<b>2 学習活動 40分</b>			
展開	<p>□活動の説明を聞き、見通しを持つ。</p> <p>教師：図面を配布します。その図面から作業工程表を作成していきます。では、個人作業でまとめていきます。</p> <p>生徒：プリントに記入する。</p>	<p>○TVに図面を提示しておく。</p> <p>・手順を書き出す。 けがき→切断→組立→仕上げ</p> <p>○ペン立ての製作工程を掲示する。</p>	

	<input type="checkbox"/> グループでまとめる活動を行う <b>教師</b> ：班内で意見交換をして、作業工程を構築していきましょう。	<input type="radio"/> 班内で工程をすり合わせる。  <input type="radio"/> 班内で疑問点や質問を行わせる。  <input type="radio"/> 班内でスライドを完成させる。	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">話し合い活動</div> ・工程表を見せ合い話し合いを行いまとめる。 (思考力・判断力・表現力)  <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">ICTの活用</div>
<b>3 振り返りをする。5分</b>			
<b>まとめ・終末</b>	<input type="checkbox"/> 教師の説明を聞き、本時のまとめを行う。  <input type="checkbox"/> 次時の内容を確認する。 ・班でまとめた内容を全体で交流する。  <input type="checkbox"/> 振り返りに、今日の授業で、大切だと思ったことを記入し、振り返りを行う。	<input type="radio"/> 振り返りを記入しまとめる。	
振り返り記述例 図面から作業工程を考えるのは難しかった。 ペン立てを経験していたから作業工程がわかった。けがき、切断、加工、組み立ての手順が理解できた。 安全面や効率、確認作業を考えていなかった。等			

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック（パフォーマンス評価）

尺度（評点・レベル）	評価規準
B（おおむね満足できる）	けがき、切断・加工・組み立ての手順内容について、スライドにまとめ表現している。
C（努力を要する）	けがき、切断・加工・組み立ての手順内容について、スライドにまとめ表現していない。

（5）板書計画

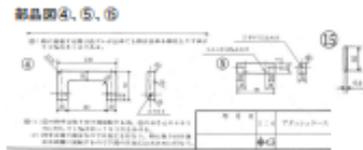
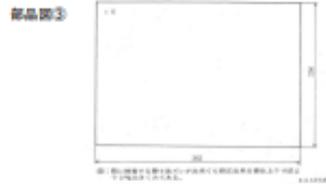
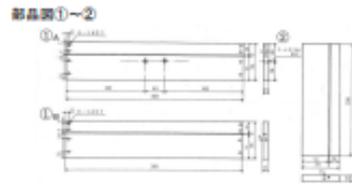
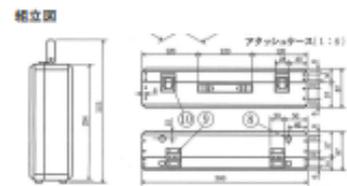
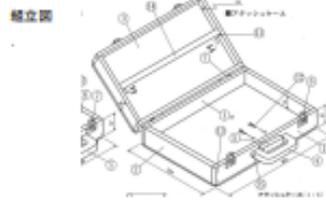
題材 アタッシュケースの製作 課題 作業の手順を考える。 ねらい ものをつくる時考えなくてはならないことについて理解できる。
--



スライド

## アタッシュケースを作ろう

さて、手順を考えていきましょう。



工程を表を作ろう(手順がわかるように書いてみよう)

①